

建築A

〔例題1〕 劇場の計画に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. オープンステージは、舞台と客席の間にプロセニウムアーチと呼ばれる額縁状の枠があるステージである。
2. 客席から見て、舞台の右側を下手、左側を上手という。
3. 客席の縦通路は、舞台の間口の中心線上に設けるのがよい。
4. 演技者の表情や細かい動作・身振りを鑑賞する場合の可視限界距離は15m程度とされている。
5. 一般的な劇場における1人当たりの客席所要面積は、通路を含めて 0.3m^2 が目安である。

【正答4】

建築 A

〔例題 2〕 屋根のアスファルト防水工事に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

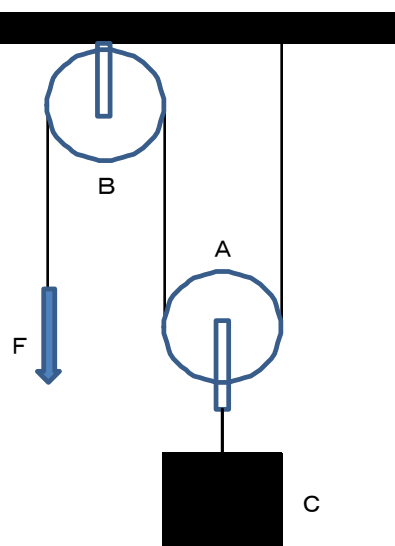
1. 下地コンクリートの出隅部分の形状を直角とした。
2. アスファルトプライマーの塗布後、直ちにアスファルトルーフィングを張り付けた。
3. 平場のアスファルトルーフィングを水下から水上に向かって張り進めた。
4. アスファルトルーフィングの継目の重ね幅を縦横とも10mmとした。
5. 保護コンクリートに設ける伸縮調整目地の深さを、その保護コンクリートの厚さの $1/3$ とした。

【正答 3】

建築A

〔例題3〕 図のように軽い糸の一端を天井に固定し、動滑車Aと定滑車Bにかける。動滑車Aに付けられた質量 m のおもりCを持ち上げるためには、糸の他端に加える力 F はいくら以上必要か。ただし、動滑車A及び定滑車Bの質量は M 、重力加速度は g とする。

1. $\frac{1}{3} m g$
2. $\frac{1}{3} (m+M) g$
3. $\frac{1}{2} m g$
4. $\frac{1}{2} (m+M) g$
5. $(m+M) g$



【正答4】

建築 A

〔例題 4〕 地盤及び基礎構造に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 同一建築物の基礎には、一般に、支持杭と摩擦杭など異なった杭を混用することが望ましい。
2. 建築物の荷重の載荷とほぼ同時に、直接基礎が短時間に沈下する現象を圧密沈下という。
3. 土の粒径の大小関係は、砂<シルト<粘土である。
4. 地下外壁に地下水が接する場合、地下水位が高いほど、地下外壁に作用する圧力は小さくなる。
5. 場所打ちコンクリート杭は、あらかじめ地盤中に削孔された孔内に、鉄筋かごを挿入したのち、コンクリートを打設することによって、現場において造成する杭である。

【正答 5】